



京都市子育て支援総合センター
こどもみらい館
研究・研修だより

かがやき

Vol.56
2019
11月

共同機構研修会 語り合いが熱い！！

6月から続く「参加型」
共同機構研修会全5回の内
内容をお知らせします。

第4回共同機構研修会

令和元年7月29日

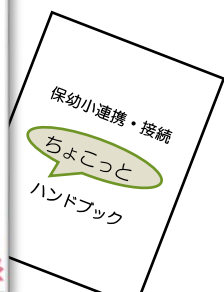
『保幼小連携・接続 語り合いから始めよう』

講師：鯨岡 峻さん（京都大学名誉教授）



学校教諭1名と園（所）の保育者2名が1グループとなり、それぞれ子どもの何を大切に、何を育てているのかを知り、何をどうつなげればよいのか、グループ討議を通して共に考える研修を行いました。

初めに、第4期研究プロジェクトで作成した冊子『保幼小連携・接続 ちょこっとハンドブック』から今回の研修のねらいである語り合うことの大切さについて説明しました。



まずは「知る」ことから始めようということで、グループワークを行い、語り合っていました。

ワーク①

今、一番気にかかっている子どもは、どのような姿ですか？

いろいろと質問してみてください。
例えば「どんなときにそのような姿が見られますか？」
「休み時間はどうしていますか？」
「どんなふうになってほしいと願っていますか？」

そのような姿が見られる子どもに対して、どのような願いを持ち、何を大切にしていますか？
具体的にどのような工夫や援助・支援をしていますか？

ワーク②

自分がその子だったら、どのような気持ちでいるでしょうか？
どうかわかってもらったら、気持ちが変わるでしょうか？

ワーク③

これまでの語り合いから、自分の保育・教育の中で改めて大切にしたいと思われたことはありますか？



最後に鯨岡峻先生より『保幼小連携・接続を語り合いから始めることの意義』と題して御講義いただきました。



『なぜ違う？子どもの見せる姿から考えよう』

～困り感のある子どもの行動を読みとく～

講師：濱村 知子さん（京都市子ども家庭支援課 臨床心理士）



健診や家庭など個別の場面と園など集団の場面で見せる子どもの姿の違いから、子どもの行動を読みとく、困り感のある子どもの理解につなげる研修を行いました。

研修では、実際に相談のあった事例を組み合わせた架空の事例を基に、グループ討議を行いました。

その後、濱村先生より、大切なポイント、**子どもの気持ちを想像する、子どもの発達特性を理解する、特性理解を各場面での支援につなぐ、全体像をとらえた支援を行う**について御講義いただきました。

事例概要

Aちゃんの担任の先生の声



園での姿

家庭での姿

発達相談場面での姿

各々の場面で異なる姿を見せるAちゃん。
なぜ、それぞれの場面で行動が変わるのでしょうか？

Aちゃんの
気持ちは？

どんな思い
でいるの？

Aちゃんなりの
考えがある？



『発達障害の基礎』

～皆で困りを持つ子どもへの具体的支援を考えよう～

講師：岡崎 達也さん（公益社団法人 京都市児童館学童連盟事務局 主任厚生員 統合育成担当）



発達障害の疑似体験



手指が器用に動かせない
子どもの気持ちを感じて
みる

狭い視野のサングラス
をかけて歩いてみる



実際に相談のあった事例を基にグループ討議を行った後、**発達障害の様々な特性やその支援**について御講義いただきました。

「参加型」研修はいずれも、「様々な職種・職場で働く方と語り合うことでたくさんの学びがあった」「具体的な事例を基に語り合うのでわかりやすい」「日々の保育に活かせるアイデアをもらった」と受講者の方々に好評でした。第5回・第6回は受講申込が殺到し、会場の都合から多数お断りすることとなり、申し訳ありませんでした。



第3回・第7回共同機構研修会 公開保育研修による協働的な学び



『「京都市楽只保育所」「京都市立伏見板橋幼稚園」公開保育から学ぶ』

講師 古賀 松香 京都教育大学准教授

6月14日(金) 9:45~14:00
『京都市楽只保育所』

公開保育研修
当日の流れ

9月19日(木) 12:45~17:00
『京都市立伏見板橋幼稚園』



① オリエンテーション
・当日の流れ
・観察の視点
・観察にあたっての
注意事項…など
古賀先生より、お話をいただきました。



② 視点に沿って
保育観察
観察者は、保育の妨げにならないように気を付けながら子どものつぶやきや表情なども丁寧に観察しました。



③ 記録整理
観察で気付いた**良かった点**
改善できる点を付箋に色分けして記入しました。



いいな!
(子どもの姿)

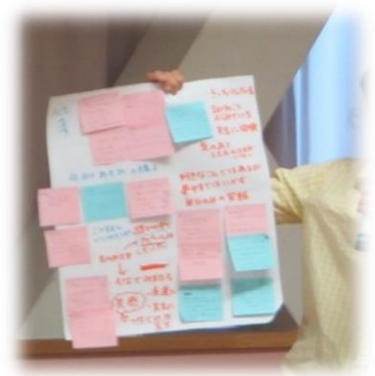
(援助)

(環境)

こうするとさらにいいかも?



④ グループ討議と報告
観察者が書いた付箋を台紙に貼りながら、気付いたことなどを出し合い意見をまとめていきました。





⑤ 指導助言

古賀先生から公開クラス担当者の聞きたいことやグループ討議，事前の保育観察や公開保育当日の様子を写真や動画をおりませながら指導助言をいただきました。



今回のように、実際に保育で悩んでいることを話し合いたいです。

公開保育の研修会に、ぜひ参加したいです。

明日へつなげる保育を前向きに考え、アドバイスくださり、ありがたかったです。また、公開保育をしたいです。

古賀先生や受講者の皆さんからたくさんの助言をいただき、楽只保育所の良さや課題が見えてきました。今後の保育に活かしていきます。

⑥ 受講者・公開保育園（所）の先生方の感想（一部紹介させていただきます）



保育をみる自分の視点の未熟さにショックを受けました。学びの姿勢を大事にしていきます。

少人数だからこそ、出し合ったことをテーマに沿って自分たちの意見をまとめる時間がつくれ自分の身になりました。

日々の保育を丁寧に、一人ひとりの子どもの良さをたくさん見つけかかわっていきたいです。

公開保育をきっかけに新たな視点で園内環境を見直し、子どもたちにとって安全で明るく心地よい環境になるよう、全教職員で取り組むことができました。

京都子育て支援総合センター
こどもみらい館

開館20周年記念

みらいっこまつり

ふちふちとこころをのびのびあそぶ

無料

12月13日(金)、14日(土)

10時～16時30分(開館時間:9時～17時)

京都子育て支援総合センター ことみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1

共同機構の各団体の皆様と共に取り組んでまいりました「みらいっこまつり」（開館20周年記念）を、令和元年に開催できることは、大きな喜びであり、皆様のおかげと深く感謝しております。

子どもたちや来館される皆様が、大変楽しみにされています。本年度も、よろしくお願いいたします。

子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都是ぐくみ憲章]より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和元年11月 20日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>